



# 松工進路だより

Vol.2  
令和3年6月1日発行  
松江工業高校 進路部

中間試験が終わりましたね。十分勉強をして取り組むことができましたか？1年生は高校の試験に慣れていなかったり、部活との両立に苦労したりして、十分な結果が得られなかったかもしれません。専門の勉強は難しい！でも、あきらめてはいけません。努力したことが結果になって現れてくるには最低3ヶ月はかかるといわれているのです。あきらめず、地道にコツコツ努力すれば、必ず結果として現れてきます。これは部活や社会人になってから就く仕事においても同じ！勉強した内容も大事ですが、今の勉強や部活に向かう姿勢が、就職・進学時、ひいては社会人になってからの評価につながるのです。



3年生は最後の総体ですね。悔いのないように頑張ってください。頑張った、やりきったという自信が、きっとこの夏以降の就職、進学活動を乗り越える力になりますよ！

## 進路希望調査（6月11日提出締切）

本校では学期ごとに進路希望調査が実施されます。希望調査書にはなるべく具体的に今の希望を書きます。成長に応じて希望は変わっていいのです。その時々に進路について調べ、深く考える時間を作ってください。そして保護者と話し合う機会を設けてくださいね。

**1年生**はなかなかイメージがわからないかと思いますが、進学しても、最終的には就職するので。自分のつきたい仕事の業種や職種について調べ、実際にその仕事に就くには、どのような資格が必要か、その資格を取るために進学が必要かなど、早い時期からインターネット等で調べてほしいと思います。そして希望調査を保護者に今の気持ちを伝えるきっかけにしてほしいです。

**2年生**は1年間の学校生活のなかでわかってきた、自分の適性についても考えてみてください。その上で、具体的な企業や学校についても調べて見ましょう。



調べ方の参考例として前回に続き、さらに2つ紹介します。

- ① 進路の手引きの活用！
- ② 進路部前の廊下に掲示してある「卒業生紹介」をチェック！

とくに①は自分の手元にあるので、部活が忙しい人にもお勧めです。そこからさらにインターネットなどを利用して深めていきましょう。②も実際に働く先輩たちからの生の声を写真付きで掲示していますので、実際に働くイメージが想像しやすいと思いますよ。

## ●「進路のてびき」活用法！●

・先輩たちが実際にいった進路先を調べてみる（就職・進学）	P77～84
・本校を指定校とする進学先を調べる（進学）	P44～66
・高卒で受験できる公務員について調べる（公務員） ※併せて教室の本棚にある「進路関係資料」ファイルの「島根県職員採用案内」等を参照。	P32～33
・今何をすればいいのかわからない。進路に対する気持ちを高めたい。	P67～74

**3年生**はもちろん進路決定の時期が近づいているので、どこになっても納得のいける具体的な企業の名前や専門学校の名前が3つくらい絞れる状態であることが望ましいです。それはもちろん**最終決定ではないけれど、希望が具体的でない限りその先に進むのは難しいでしょう**。3年生は、そういう時期が目の前にあるのです。

## 進路ガイダンス

3年生向けの進路ガイダンスを6月9日(水)5, 6限に行います。この時の説明は25分間ですので3つのお話を聞くことができます。あなたはこの進路ガイダンスにどのような姿勢で参加しますか。

今回来ていただくのは企業29社(資料参加企業1社含む)、進学先23校です。企業はいずれも**県内に就業地**があり、卒業生が就職していて、**今年本校に求人を予定しておられる企業**です。進学先はみなさんの希望のあった学校、または同じ業種の学校です。来校、またはオンラインで参加していただきます。

25分で得られる情報はたかが知れています。だから予め、参加する企業の求人票を見ておく、インターネットで企業や進学先のHPを調べるなど予習をしておくことをおすすめします。せっかくの機会ですから、疑問に思ったこと、さらに詳しく知りたいことがあれば積極的に質問しましょう。入社してから、入学してから「こんなはずじゃなかった!」と早期にやめることがないように、今しっかり調べ、深く考えることが大切です。

「まだどんな仕事に就くか迷っている」みなさんこそ特に参加するブースの話を実際に想像力を働かせて聞きましょう。きっと役立つ発見がありますよ。

## 部活動に参加しよう

1年生のみなさんが入学して2か月になろうとしています。みなさんは部活動に参加しているでしょうか。体育系の部の場合、県総体の後では入部しにくいと感じる人が多いようですが、体育系、文化系いずれも、今からでも思い切って入部し自分を磨くことをお勧めします。

企業が求めている人物像として「勉強を頑張っている人」や「部活動をしている人」があげられます。「勉強を頑張った人」は何となくわかる気がしますが、「部活動をしている人」が職場に歓迎されるのは何故でしょうか。鍵は「仕事はチームでやるもの」ということです。部に入って仲間と共に同じ目標に向かって練習を続けたり、協働してものを作ったりする活動で磨かれる力は、将来、職場で出会う人たちを満足させ、自分自身に充実感をもたらす原動力になるのです。

辛いときがあったとしてもそれを乗り越え、自分が好きなことで自分を伸ばすことができる。そんな部活動に参加しましょう。



昨年の進路ガイダンスより

### 早期退職理由(労働政策研究・研究機構調査より)

- 1位 労働時間・休日・休暇の条件が良くなかった
- 2位 人間関係が良くなかった
- 3位 仕事が自分に合わない
- 4位 賃金の条件が良くなかった

### 進学先退学理由(H26文科省調査より)

- 1位 経済的理由
- 2位 転学(ミスマッチ)
- 3位 学歴不振
- 4位 就職するため

